

市の考えについて

新文化会館の整備については、議会への中間報告でも示した通り、今市文化会館解体後跡地、及び七里地内市有地における水害リスクや法的な規制に関しては、専門家の意見などを踏まえると何らかの対応策があることが分かった。

しかし、すべてのリスクをゼロにすることはできないことも事実である。

また、人口減少・少子高齢化の進行に加え、先の見えない物価高騰による財政の危機的状況などを総合的に判断した結果、新文化会館整備の検討を凍結せざるを得ないと考えている。

令和7年度の予算編成についても、人件費や物価高騰の影響を受けて、過去に例をみないほど困難を極めたところである。また、経常収支比率の見込みが100を超えるなど、大変厳しい状況にある。

こうした中においても、中心市街地の整備や鬼怒川温泉駅前の再整備などの事業が予定されており、今後、財源配分の見直しと優先順位の明確化が必要であると捉えている。

限られた財源を有効に活用するためには、市全体の重要課題を総合的に評価し、最も効果的な施策へと集中投資することが不可欠である。

このため、令和7年度に行う長期財政の収支見通しの見直しに合わせ、大きなフレームの中で検討する必要があると捉えている。

このように厳しい財政状況が続く間においては、新文化会館整備の検討を凍結することとし、再検討については、今後の財政状況を見極めながら判断していく。

1. 今後の対応について

① 当面の代替施設について

◇日光街道ニコニコ本陣多目的ホール(380席)256㎡

- ・今市文化会館の利用実績は、1回あたりの公演等で380人以下の利用が全体の約85%を占めるため、ニコニコ本陣多目的ホールが主な代替施設となる。

◇中央公民館(令和7年10月イオン今市店へ移転予定)

- ・小規模な発表会や講演会などは、防音機能を備えた多目的室(188㎡)や音楽室(94㎡)の利用が可能である。

◇市内のホテル

- ・演劇鑑賞、発表会、講演会などは、市内のホテルが保有するホールや会議室等の利用が可能である。

◇近隣自治体のホール

- ・参加予定人数が多いイベントなどは、近隣自治体が所有する施設の利用が可能である。

[参考例]

- | | |
|------------------|-------------------------|
| ・栃木県総合文化センター<有料> | メイン(1,604席)、サブ(505席) |
| ・宇都宮市文化会館<有料> | 大ホール(2,000席)、小ホール(500席) |
| ・鹿沼市民文化センター<有料> | メイン(1,302席)、小ホール(395席) |

② 検討していた複合機能について

◇子育て支援機能

既存施設を活用することとし、新たな施設整備は行わない。

[既存施設]

- ・地域子育て支援センター (日光ランドマーク3階)
- ・日光親子ふれあいひろば (日光福祉保健センター内)
- ・鬼怒川親子ふれあいひろば (清流保育園内)

◇世界遺産ガイダンス機能

既存の公共施設等を利用し、最新のデジタル技術を活用した映像などによる案内・解説・展示等を行うガイダンス機能の整備を検討する。

◇日光地域の集会施設

日光総合会館検討専門部会から提言を受けた集会施設の整備については、既存の公共施設等を活用し、増築や改修等による実現可能な方策を検討する。